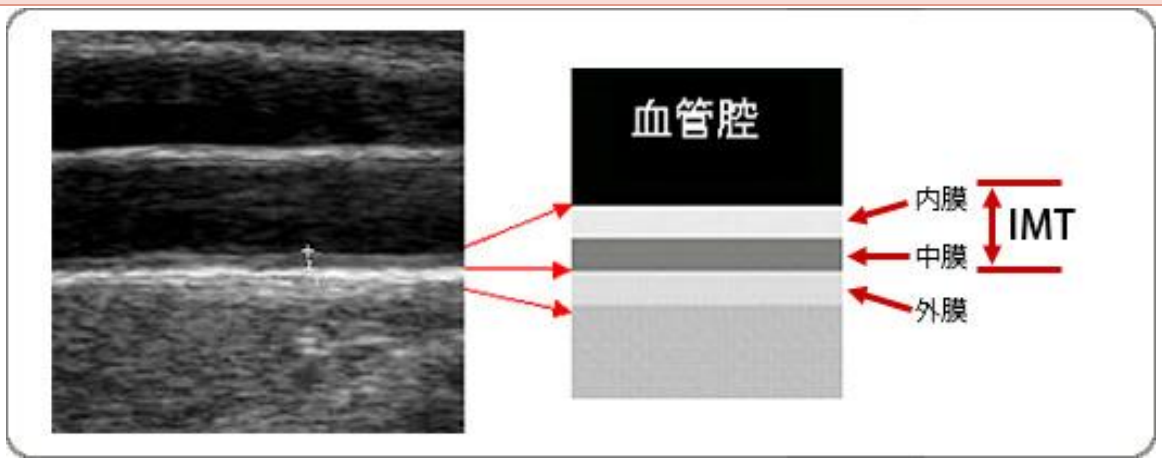
糖尿病だより

2013年2月
No.25

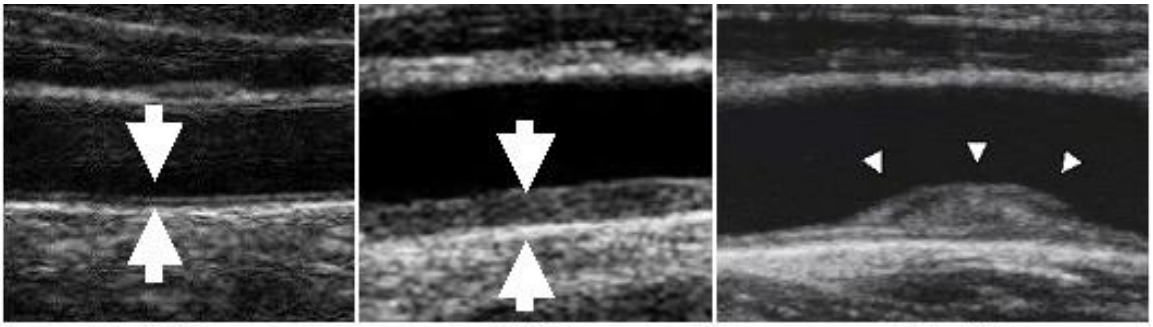
～臨床検査科より～　　頸動脈エコー検査について

糖尿病では**動脈硬化症**が進みさまざまな合併症(虚血性心疾患、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症)が生じてくることが知られています。
頸動脈エコー検査は、動脈硬化の程度や頸動脈のつまり（＝狭窄の程度）を詳しく調べることができる検査です。
動脈の血管の硬さや厚みは 0.1 ミリ単位で測定できます。
検査時間は当院では約 15～３０分です。
被爆や痛みはありません。

頸動脈エコーの診断法



IMT(Intima Media Thickness)は頸動脈の**『内膜中膜複合体厚』**を意味し、正常値は **1.0mm 以下**です。
逆に、**1.1mm を超える**と脳血管障害（脳梗塞や脳出血など）と虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞など）の発症率が高くなるとされています。



正常例　　IMT脂厚　　プラーク像

糖尿病のコントロールには食事・運動などの生活習慣を変えることと、その継続が欠かせません。皆様の糖尿病療養に役立つ情報をこの「糖尿病だより」で発信していきます。

糖尿病療養指導スタッフ一同　　国立病院機構 姫路医療センター